

12月15日正午必着

明石春浦先生書



温厚和平（礼記）物やさしく篤実、和らいでおだやかなこと。

明石幸子書



北風吹白雲。心緒逢搖落。

萬里渡河汾。秋聲不可聞。

（蘇頌）

この詩は偶ま汾上に至りて、秋に遇い、驚いて作つたものである。



菅井松雲先生書

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

碧水忽開新鏡面。青山都是好屏風（史蕭）

碧水はみがき立ての鏡のように眼前にひらけ、青々とした山々はさながら屏風を引きまわしたよう。

薄氷凝地（東哲）

薄氷地に凝る。

冬の形容。

烟波半落新沙地（劉禹錫）

烟波半ば落つ新沙の地、
鳥雀羣飛す雪ふらんと欲するの天

岸べのすなはまにもやのこめた波がひたひたと打ち寄せ、雪模様の空には雀が群れとんでいる。

南亭送鄭侍御還東臺（岑參）

南亭にして鄭侍御が東臺に還るを送る 岑參

江亭酒甕香 白面繡衣郎

江亭 酒甕香し 白面 繡衣の郎

砌冷蟲喧座 簾疎月到牀

砌は冷やかにして 虫 座に喧しく 簾は疎にして 月 牀に到る

鐘催離興急 弦緩醉歌長

鐘は離興を催して急に 弦は醉歌を緩うして長し

關樹應先落 隨君滿路霜

関樹 応に先ず落つべし 君に隨う 満路の霜

みぞれふり夜のふけゆけば有馬山いで湯の室に人の音もせぬ（上田秋成）

半紙部規定課題A

12月15日正午必着

人古
識墓
樵

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

12月15日正午必着

行書

古墓樵
人識

隸書

古墓樵
人識

明石春浦先生書

草書

古墓樵
人識

行草書

古墓樵
人識

いにしえの偉人が一飯の恩義に感じ入ったという そのことはもはや千年のむかし
年古りた墓は、樵人たちが知っているだけ かの時のままにここ楚の地の水は流れる
行きずりの旅人が水際の蘋草を摘んで供え 杜鵑は山中の樹木に悲しく啼く
春の草は年ごとに緑に茂る かの貴公子がかつて遊んだこの地に

漂母墓

劉長卿

昔賢懷一飯

茲事已千秋

古墓樵人識

前朝楚水流

渚蘋行客薦

山木杜鵑愁

春草年年綠

王孫舊此游

漂母の墓

劉長卿

昔賢一飯を懐く

茲の事 已に千秋

古墓 樵人識り

前朝 楚水流る

渚蘋 行客薦め

山木 杜鵑愁う

春草 年年緑なり

王孫 旧此に遊ぶ

(出典)
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

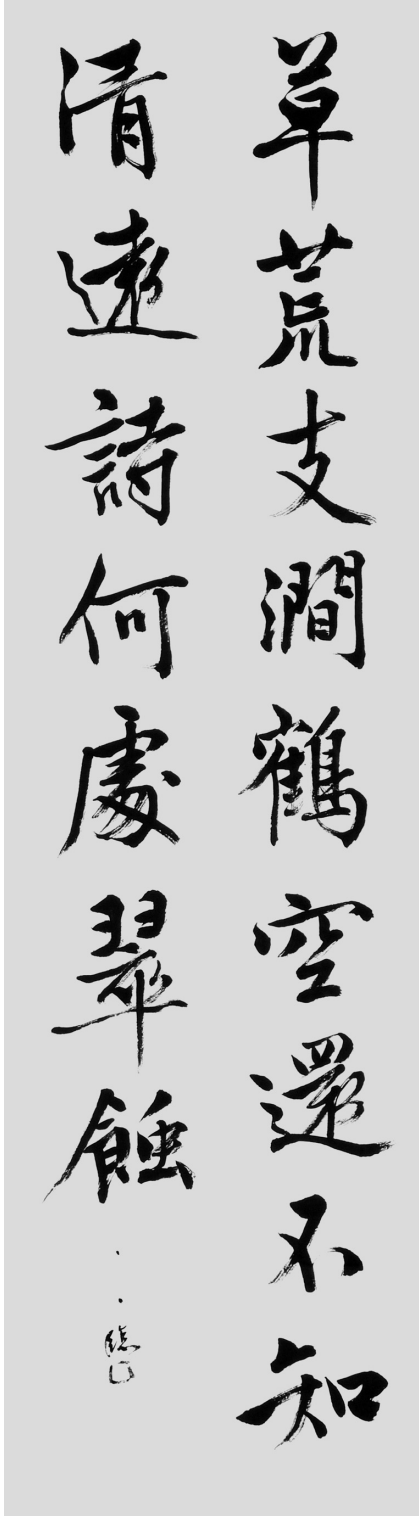
羽泉茶可試
草荒支澗鶴
空還不知清
遠詩何處翠
蝕苔花細雨
斑

羽泉茶可試。草荒支澗鶴空還。不知清遠詩何處。翠蝕苔花細雨斑。
〔并列せ〕羽泉茶は試む可く、草荒れし支澗鶴空しく還る。知らず清遠
詩は何れの処ぞ、翠は苔花を蝕みて細雨斑たり。

12月15日正午必着



草荒れし支澗鶴 (空しく還る。)



草荒れし支澗鶴空しく還る。知らず 清遠詩は何れの処ぞ、翠は(苔花を)蝕みて(細雨斑たり。)

明文徵明・行書詩卷

文徵明(一四七〇〜一五五九)は、揚子江下流域の蘇州の生まれで、明代中期を代表する文人である。宋・元の時代以来、揚子江下流域は主要な米産地で、その中心をなすのが蘇州であり、明代になると絹織物や綿花の産地としても栄え、豊かな経済性に富んだ地域であった。そんな風土の中ではおのずと文化も栄え、すぐれた文人を輩出した。

文徵明の少年時代は特に秀でた子供ではなかったが、父・文林の同僚や友人に当時の第一流の巨匠がおり、彼らに師事して詩や書画を学ぶことができたこと、生来の生真面目な性格と根気強さで、基礎から築きあげていく努力を重ねて、文人としてのめきんでた才能を身につけていったといわれている。

明代の書家達は復古主義を標榜し、元代に一世を風靡した趙孟頫の書を通して王羲之の典型を学ぼうとしたが、文徵明は、さらに直接的に王羲之に肉迫しようとした。また、単に羲之に追随するだけにとどまらず、他の色々異なった書法を学び、それを消化して自分の書を変化させていった。

彼は天才的能書家ではなく、たゆまぬ習熟と工夫によって大成した。決して独創的で型破りな面白味はないが、一点一画をゆるがせにしない伸びやかで清く澄んだ筆致は、謹厳さとときの細やかさを感じさせる。

文徵明は九十歳という長寿であったが、この行書詩巻は八十八歳の作。内容は虎丘で詠んだ七言律詩旧作四首を書いている。書風は黃庭堅と沈周の間にある比較的穏やかである。(春濤)

12月15日正午必着

教育部毛筆



雨宮春聲先生書

ふゆ しょう ぐん
冬 将 軍

中学一年



菅井松雲先生書

せい たん さい
聖 誕 祭

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



どく

しょう

小学五年

榎戸春龍先生書



すみ

やき

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

12月15日正午必着



こう

じょう

小学三年

藤田幸春先生書



じ

てん

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

き た 小学一年・幼年



森戸春濤書

あか い 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

雪と氷におおわれた険しい山脈が続いている

小学五年

北国から届いた初雪の便りに冬の訪れを感じる

小学六年

柴の戸に茶を木の葉かくあらしかな芭蕉

中学

お体には十分留意され
良のお筆をお迎えください

一般(級位)

由良の門を渡る舟人かちを絶え行方も知らぬ恋のみちかな
よりくもちらぬ恋のみちかな

一般(段位)

由良の門を渡る舟人かちを絶え行方も知らぬ恋のみちかな(曾根好忠)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

い	み
	ず
き	が
せ	
つ	つ
で	め
す	た

幼年

に	町
	は
つ	し
つ	ろ
ま	い
れ	ゆ
た	き

小学一年

の	ど
中	う
で	ぶ
冬	つ
ご	は
も	
り	土

小学二年

れ	寒
が	空
と	を
ん	
で	鳥
ゆ	の
く	む

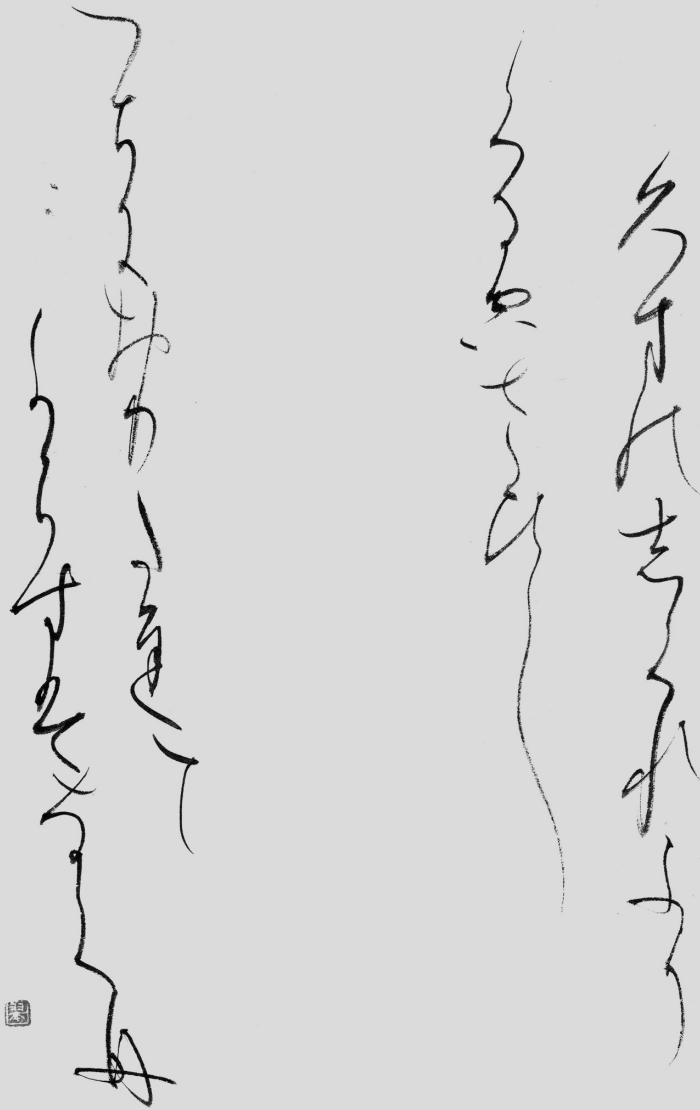
小学三年

た	屋
サ	根
ン	か
タ	ら
の	こ
お	ろ
じ	げ
さ	落
ん	ち

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



久方の
能
志
しくれふりくる
空さひし
つちにおりたちて
爾
利多遅
可
からすはなくも
母
(齊藤茂吉)

松永翠舟先生書